



晴海小野田レミコン 異業種他分野施設 見学会を行いました

- 日 時：2025年10月7日(火)
- 見学時間：13:30～16:00
- 参 加 者：26名
- 協 力：晴海小野田レミコン(株)

異業種他分野施設見学会は、建設業周辺の業種や会員のみなさまがふだん深く接する機会の少ない分野の施設見学として開催しているものです。このイベントを通じて土木技術者のみなさまが見聞を広め、その知見を日々の業務に活用していただくことを期待しています。

今回は、江東区東雲にある「晴海小野田レミコン(株)」の大型生コン工場を訪問しました。



晴海小野田レミコンの工場建屋
サイロや生コン材料である骨材を運び上げるベルトコンベアを内部に収めることで、粉塵の飛散や騒音の発生を抑えた環境配慮型の工場となっている。
(出典：晴海小野田レミコン(株)HP)

見学会の冒頭、同社の古谷業務部長より、平成26年8月に完成した当工場の施設概要をご説明いただき、サイロや輸送機などの各種設備を建屋内に収めることで周辺環境に配慮した閉鎖型の工場であること、また国内最大級の垂直ベルコンによって省スペース化を実現していることなどが紹介された。

その後、参加者は3班に分かれてプラント、オペレータ室、試験室をご案内いただき、都内有数の規模を誇る大型のコンクリート製造設備とそれを厳格に管理して品質保持する体制、無数の試験体の保管状況など、貴重な生産現場の最前線を見学することができた。また、でき上がったばかりの生コンを積み込んだミキサー車が、今までに都内の現場に向けて出発する様子も目の当たりにした。



左／国内最大級の垂直ベルコンベア
右／オペレーションルーム
(出典：晴海小野田レミコン(株)HP)

見学終了後は、近未来コンクリート研究会の十河茂幸講師による「生コンクリートの上手な使い方」と題したセミナーが行われ、CO₂排出量の削減や廃材の再利用など、コンクリートにも環境負荷低減が求められている現状が提示されて、参加者の関心を集めている。さらに活発な意見交換が行われ、技術的な理解を深める貴重な機会となった。



コンクリートの解説をする
十河茂幸講師



セミナーの様子

参加者アンケート(抜粋)

- ・コンパクトな最新のプラント、出荷のスピードと配合の異なる出荷をコントロールしているのがすごいと思った
- ・現場では生コンの打設しか見たことがなかったので、製造工程・輸送の実態を知ることができて勉強になった
- ・オートメーション化が進んでいて感心した
- ・工場内の空気も綺麗で、整備された設備に驚かされた
- ・最小限のマンパワー管理で完結していることに驚いた
- ・書籍でしか知らなかった生コンプラントを実際に見られて大変参考になった